

番 号	分 野 別	資 料 の 概 要
2	事業手法	設計・施工一括発注方式を検討するに至った背景・理由

新市庁舎は、本市では初めての超高層建築による公共建築物になります。

東日本大震災の経験を経て、超高層建築物における長周期地震動への対応がクローズアップされているところであり、大地震の発生時においても事業継続可能な高い耐震性能を備えた新市庁舎を、できる限り早期に整備していくことが極めて重要となります。

また、環境未来都市に相応しい優れた環境性能を備えた庁舎を実現する必要があります。さらに可能な限りコスト縮減を図っていく必要もあります。

このような課題に対して、従来から本市で採用してきている設計・施工分離発注での総合評価落札方式を採用することで、どこまで対応できるかを検討していました。

そうした経過の中で、民間や他都市でも採用事例が出てきている設計・施工一括発注方式も含めて、「高度な技術力の採用」、「工期短縮の可能性」、「コスト縮減」、「地域経済の活性化」などの観点から、新市庁舎整備における最も適した発注方式について検討していくことといたしました。